

住宅火災の現状

～住宅用火災警報器の設置のすすめ～

皆さんの住宅には**住宅用火災警報器**が設置されていますか。

大切な家と家族を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

- ・住宅火災における最近の死者数は1000人前後を推移。
- ・住宅火災の死者のうち、高齢者が約7割を占める。
- ・就寝時間帯で多くの死者が発生している。
- ・たばこを発火源とした火災による死者が最も多い。
- ・逃げ遅れによる死者が多い。
- ・寝具類に着火した火災による死者が最も多い。

※ 上記をまとめたデータは下記参照

(総務省消防庁のホームページから引用)

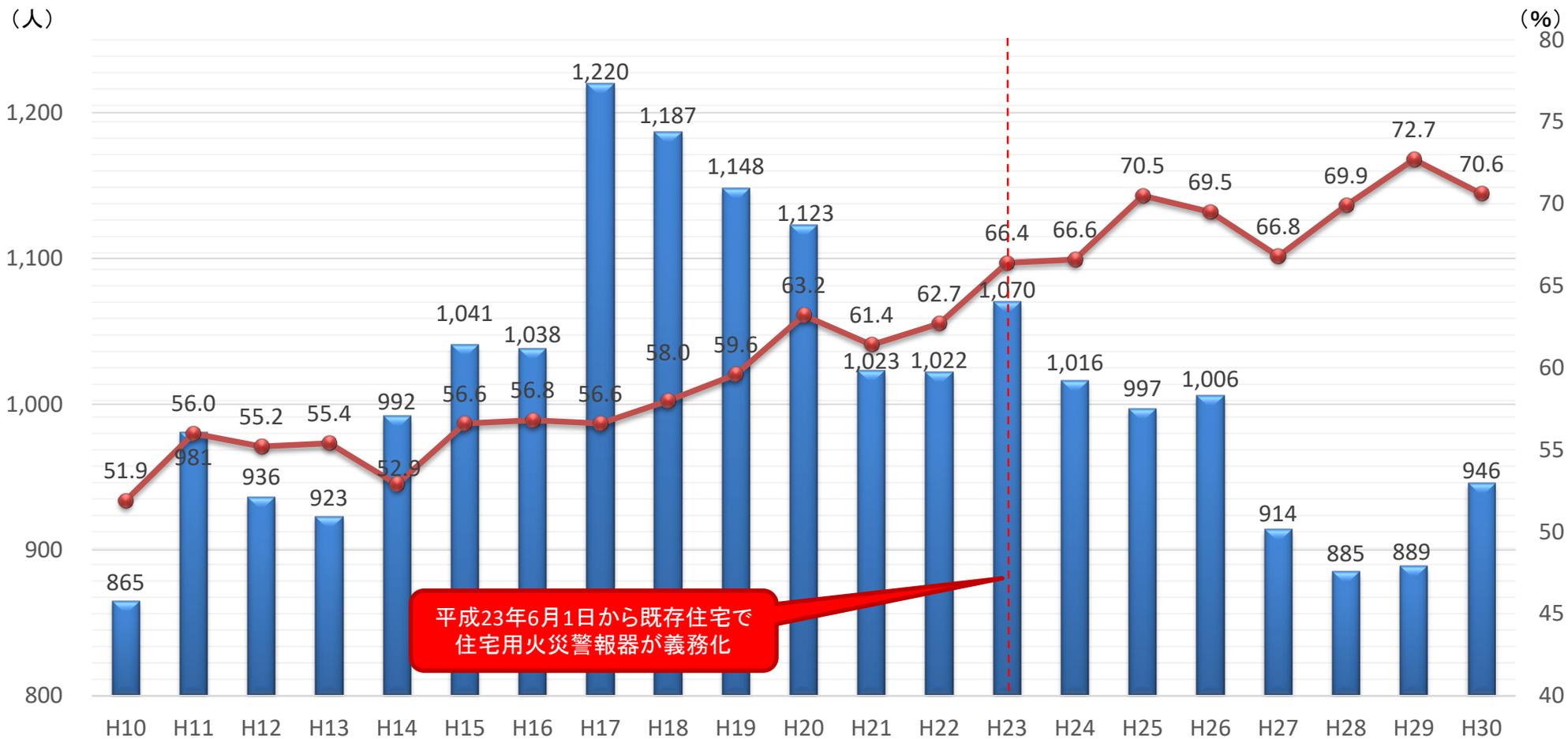


甲府地区広域行政事務組合消防本部
予防課 TEL055-222-1291

住宅火災の発生件数と死者数の推移



住宅火災の死者数の推移

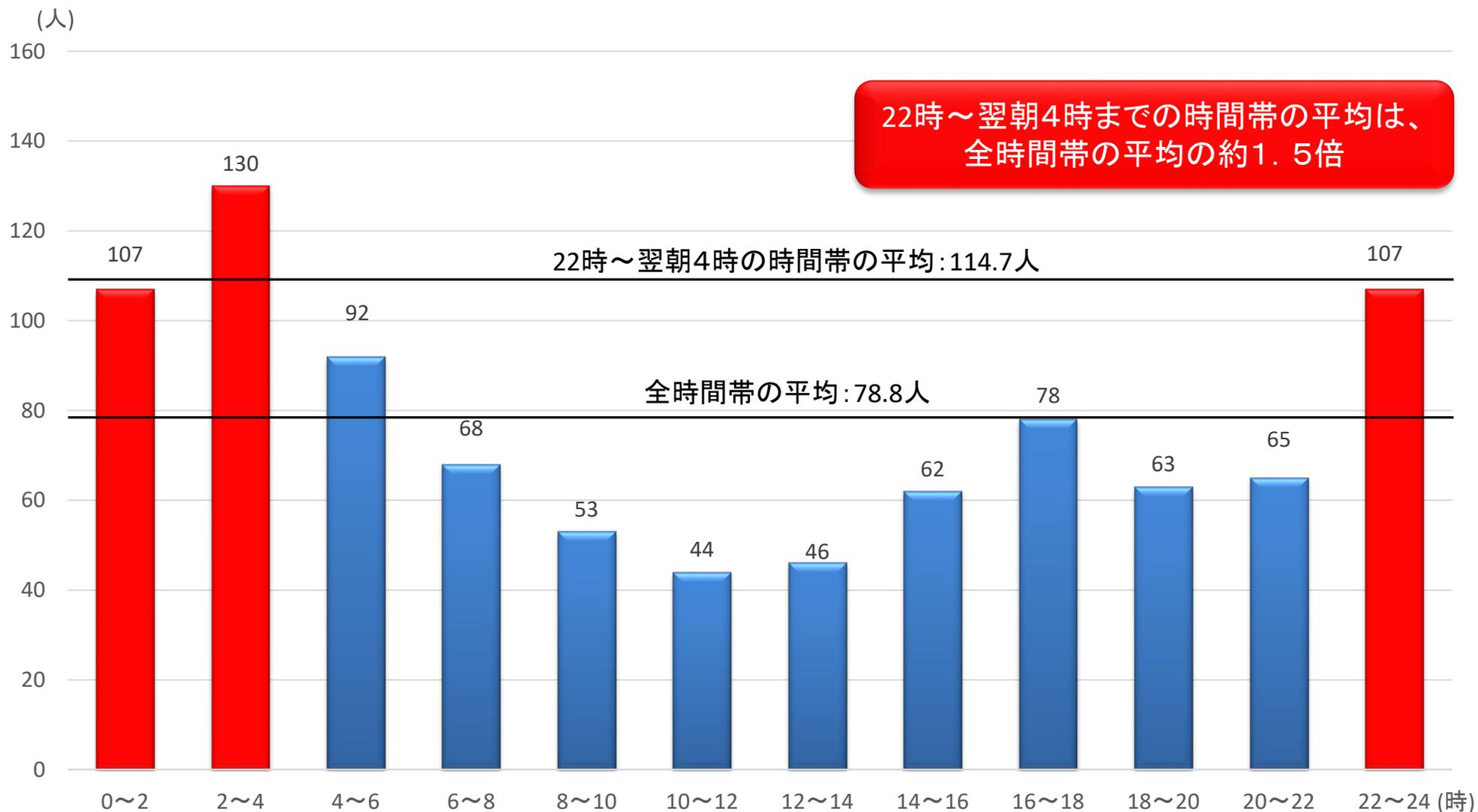


■ 住宅火災死者数(放火自殺者等を除く。)

● 65歳以上の高齢者の割合(%)

時間帯別住宅火災の死者発生状況(放火自殺者等を除く。)

(平成30年中)



(備考) 1 「火災報告」により作成

2 「各時間帯の数値」は、出火時刻が不明の死者31人を除く集計結果。「全時間帯の平均」は、出火時刻が不明である火災を含む平均

3 例えば、時間帯の「0~2」は、出火時刻が0時0分~1時59分の間であることを表す。

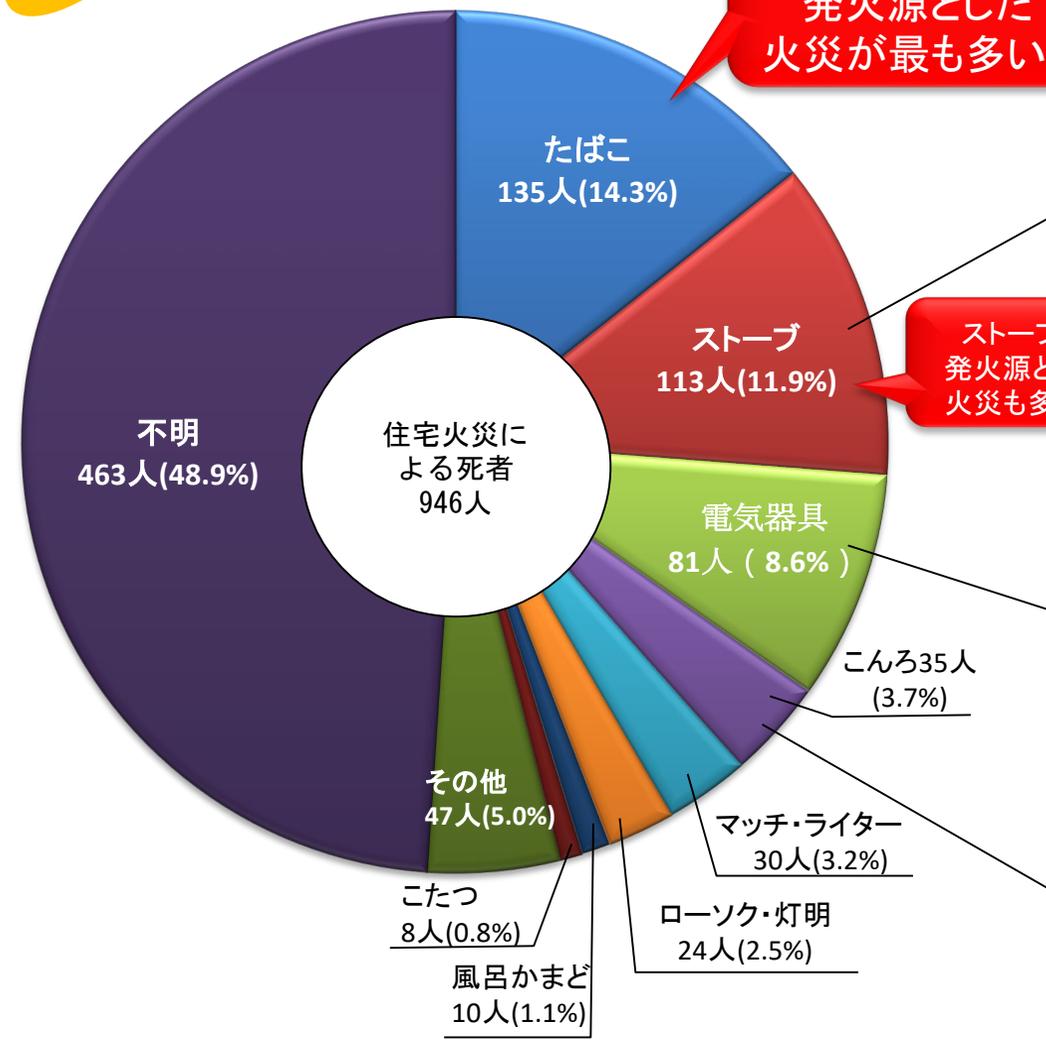
住宅火災の発火源別死者数(放火自殺者等を除く。)

(平成30年中)

対策1

寝たばこは絶対にやめる。

たばこを
発火源とした
火災が最も多い。



対策2

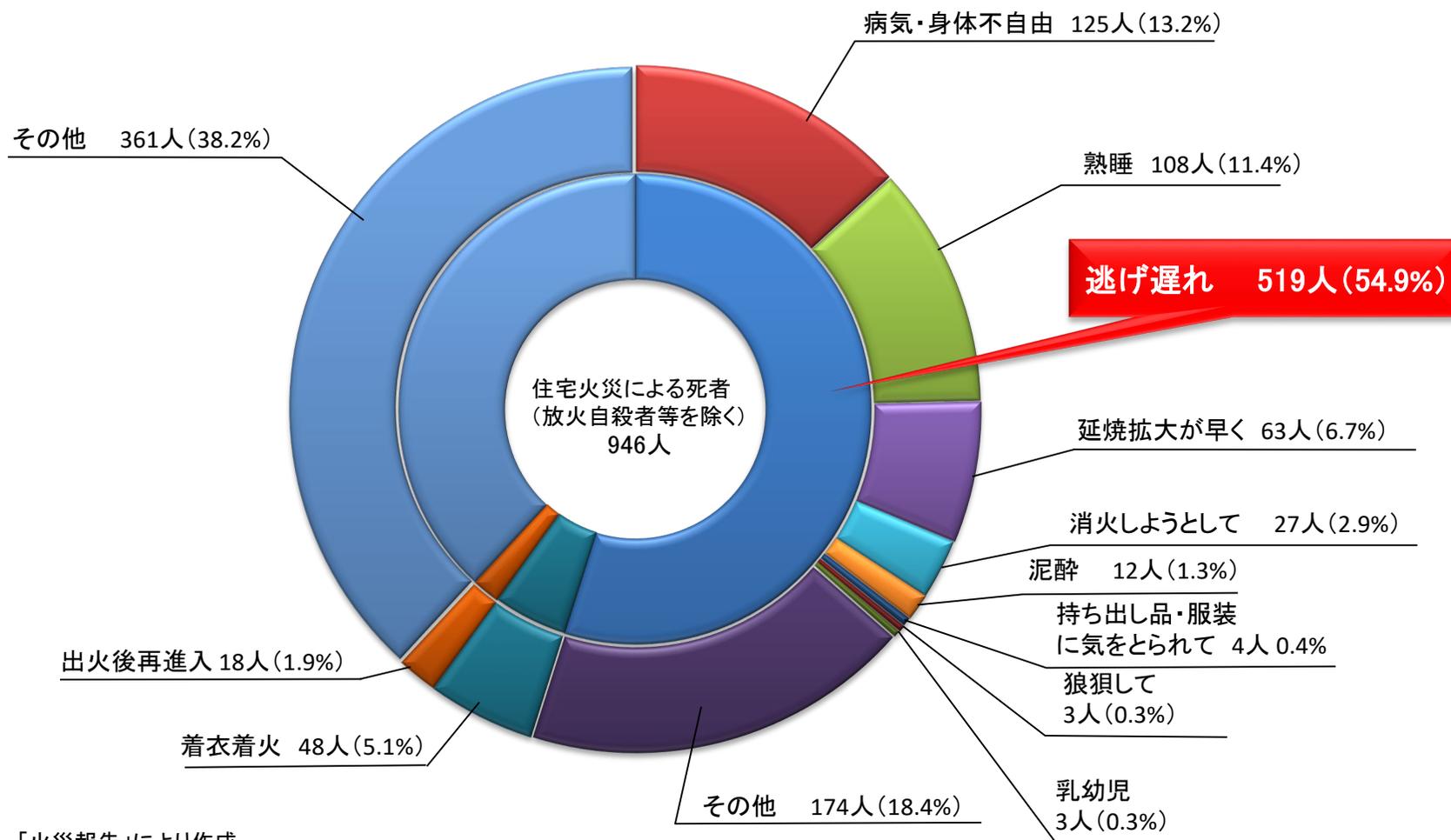
ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



(備考) 「火災報告」により作成

住宅火災の死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く。)

(平成30年中)



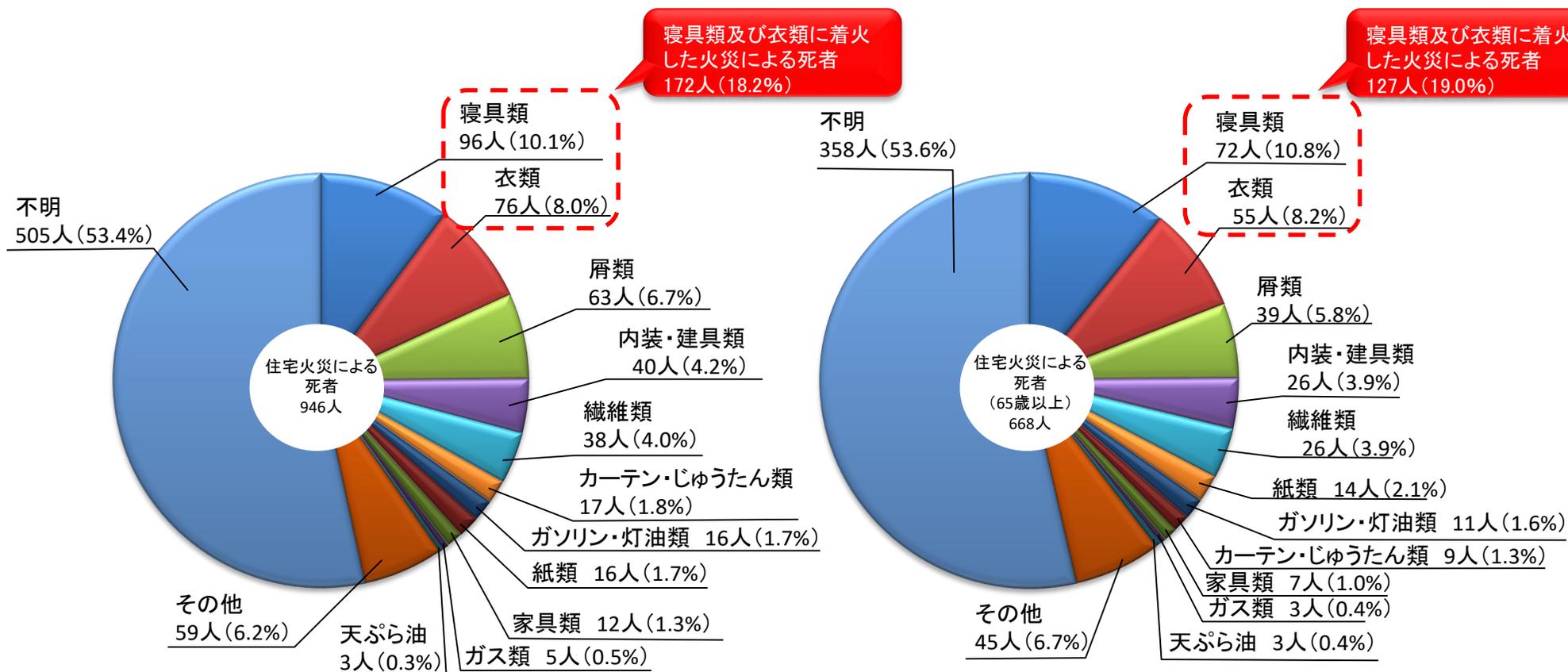
(備考) 「火災報告」により作成

対策3

逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅火災の着火物別死者数(放火自殺者等を除く。)

(平成30年中)



(備考) 「火災報告」により作成

寝具類に着火した火災による死者が最も多い。

対策4

寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために防災品を使用しましょう。